



* CONTENTS *

- 🌿 「丹波の森構想」策定から20年の歩み 2~5 🌿 こどもひろば 6
🌿 森あそびのススメ・ささやまの森公園からのお知らせ 7 🌿 生活相談コーナーからのお知らせ 8
🌿 文化振興部からのお知らせ 8~9 🌿 協会からのお知らせ 10 🌿 公苑からのお知らせ 11

「丹波の森構想」策定から20年の歩み

—市民との参画と協働の森づくり—

北摂・丹波の祭典 ホロンピア88を契機に

丹波地域（篠山市・丹波市）は、面積871km²で、うち森林が75%を占め、日本海と瀬戸内海を結ぶ文化の十字路として独特の文化・産業を育んできました。

昭和61年にはJR福知山線の複線電化、昭和63年には近畿自動車道の県内全線が開通して、ますます都市との時間的距離が短縮し、利便性の向上により、様々なメリットとともに開発にさらされる危険性が懸念されました。

このような状況の中、兵庫県と地元市町が一体となって三田市・吉川町（現三木市）と丹波地域において、北摂・丹波の祭典「ホロンピア88」が開催されました。この祭典で地域の魅力を発信し、これからの丹波地域が目指す方向性を示すとともに、新しい地域づくりへの契機となりました。

自治体、事業者による 森づくりの展開

北摂・丹波の祭典の会場施設として泉や旧10町（現篠山市、丹波市）は、たんば田園交響ホールをはじめ、地域の特性を生かした交流機能を持つ施設を整備し

ました。これらの施設は祭典開催後も「丹波の森構想」の中核拠点となり、丹波の森づくりを躍動させる原動力となりました。

丹波の森宣言から 丹波の森構想へ

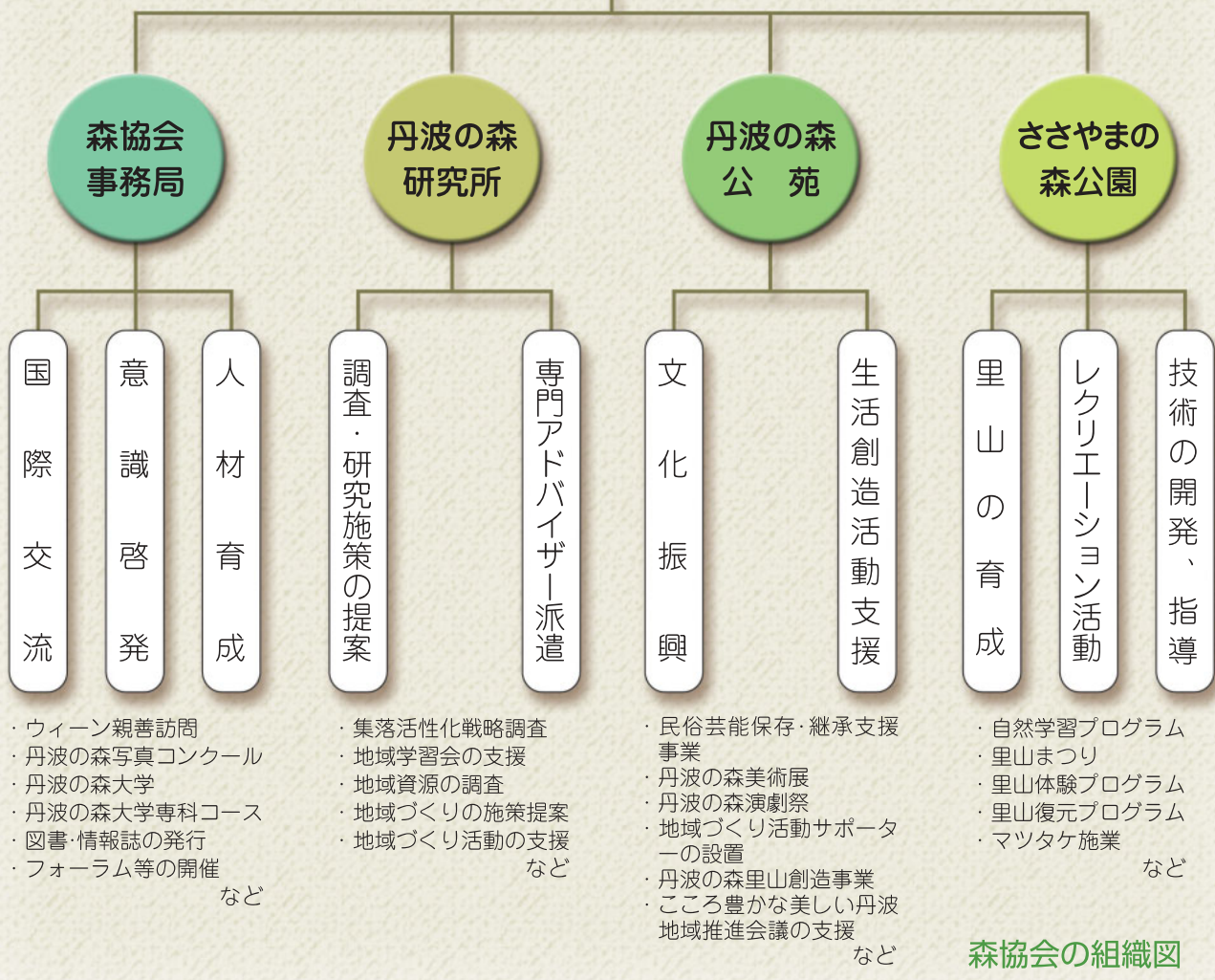
この祭典の成果とエネルギーを地域づくりにつないでいくため、昭和63年9月に丹波地域で21、616名の署名を得て「丹波の森宣言」を発し、自治体、住民、事業者がそれぞれの役割を果たしながら推進することになりました。そして11月にはこの取組みを確実なものにするための推進母体として、丹波の森協会が発足しました（平成2年に法人化）。

翌、平成元年の3月には丹波地域の魅力や特性を育み共有していくため、人と自然と文化の調和した地域づくりをめざす「丹波の森構想」を策定し、その実現に向けた地域づくりがスタートしました。

（4ページへ続く）

一九八八 (S63)	4月	北摂・丹波の祭典 ホロンピア88の開催
	9月	丹波の森宣言
	11月	丹波の森協会設立(任意団体)
一九八九 (H元)	3月	丹波の森構想策定
	10月	ウィーンの森(オーストリア)との交流が始まる
一九九〇 (H2)	2月	財団法人 丹波の森協会 (法人化)
一九九三 (H5)	11月	ウィーンの森との 友好親善提携締結
	11月	森林文化国際会議と 共同宣言採択
	11月	丹波の森協会発展計画策定
一九九六 (H8)	4月	丹波の森公苑開園 財団法人丹波の森協会が管理 運営を受託
	4月	丹波の森研究所設置

(財)兵庫丹波の森協会



森協会の組織図

二〇〇八 (H20)	二〇〇七 (H19)	二〇〇六 (H18)	二〇〇四 (H16)	二〇〇二 (H14)	二〇〇〇 (H12)	一九九九 (H11)	一九九七 (H9)	一九九七 (H9)	一九九七 (H9)
11月	6月	4月	11月	7月	7月	4月	11月	7月	9月
財団法人兵庫丹波の森協会 設立20周年	丹波の森研究所篠山分室開設	財団法人兵庫丹波の森協会 (名称変更)	丹波市誕生	ささやまの森公園開園 財団法人丹波の森協会が管理 運営を受託	フォンテーヌブローの森 (フランス)との友好親善提携	篠山市誕生	地域づくり優秀団体国土庁 (現国土交通省)長官賞受賞	グラウンド、テニスコート、 クラブハウスの供用開始	丹波の森基金の設置

ウィーンに学ぶ

丹波の森協会の設立当初から丹波の森づくりの手本はウィーンの森として、平成元年10月の訪問から現在まで親善訪問が続いており、参加者総数は652名を数えます。平成5年にはウィーン市13区と友好親善提携の調印をしました。

私たちは、このかけがえのないふるさとに愛着と誇りをもって、丹波の森の文化を創造し次の世代に引き継いでいかなければなりません。



ウィーン親善訪問

シンボルの森として
丹波の森公苑を整備

平成8年には「丹波の森構想」の推進拠点として、新しいライフスタイルを創造する「生活創造センター」として丹波の森公苑が丹波市柏原町に設置されました。

当時、兵庫県では「生活創造

センター構想」が策定され、各地域において整備されるものが検討されており、第1号施設として丹波に整備することが決定されました。

平成18年度から当公苑の運営管理は(財)兵庫丹波の森協会が指定管理者となり、兵庫県との協働により生涯教育、県民運動、消費生活相談、森づくり、芸術文化の振興など多彩な取り組みを推進しています。



丹波の森公苑航空写真

地域住民が主体となった
地域づくり活動を
めざして

こうした中で、地域づくりをめざす「丹波の森構想」を推進

するため、平成7年からは市民が主体となった「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」の開催、また丹波地域の逸話を題材にした創作市民オペラ「おさん茂兵衛」に取り組むなど、丹波の文化を活かした活動によ

り地域内外からも注目されております。

また、地域づくりをサポートする丹波の森研究所も丹波の森公苑の開園と同時に設置されました。専門研究員や登録研究員を配し、丹波地域の集落に入り、地域資源調査やワークショップ、計画づくりへの助言等を行い、地域づくりの支援をしております。



H18年度南公園整備
(篠山市南新町自治会)

20年を迎え
「丹波の森構想」
評価・検証へ

このように丹波地域における地域づくりの指針でありました「丹波の森構想」も策定されてから今年で20年の節目を迎えます。

この構想の理念が丹波地域でどのように実践されてきたのかを兵庫県、篠山市、丹波市と連携して評価・検証を行い、今後の地域づくりの方向性を考えていきます。



丹波の森構想

この構想は、「人と自然と文化の調和」を基本テーマに次の三項目を基本理念にしています。

一、自然と共に生きる地域社会の実現

人間も自然界の一員であることを認識して、自然と共に生きる地域社会の実現をめざします。



里山植樹



丹波の森大学



創作市民オペラ



丹波の森フェスティバル



20年の節目を迎えて

丹波の森公苑長 中瀬 勲

今年「丹波の森構想」策定20年に
当たる節目の年です。ホロンピアの祭
典にはじまり、丹波の森構想の基で、
丹波の森公苑の開設と運営、ウイーン
の森との国際的な提携、シュールテル
イアーデ丹波や市民オペラの開催、丹
波のむかしばなしの編纂などの芸術的・
文化的事業の展開、丹波の森大学や丹
波OB大学等の生涯学習事業の展開、
緑条例を基礎にした参画と協働の地域
づくりの活性化など数多くの先進的事
業が進められてきました。

これらは、市民、団体、NPO、企
業などと兵庫県、丹波県民局、篠山市、
丹波市などの行政との「参画と協働」

の成果であるといえます。わが国の多
自然居住地での地域づくりをリードす
る輝かしい成果をあげてきたといつて
も過言ではありません。

これらの20年間の成果を検証・評価
し、「丹波の森構想」の新たな展開
を期する記念すべき年を迎えています。
丹波地域でも少子・高齢化の波がひた
ひたと迫ってきていますが、皆様と共
に、新たな輝かしい展開をめざして積
極的な活動を進めていきたいと考えて
います。ご支援、ご協力をよろしくお
願い申し上げる次第です。

【丹波の森宣言】

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住
民共有の財産であって、これを維持発展させるこ
とは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに
力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これ
らを生かした「丹波の森」づくりを次のように進
めることを宣言します。

1. 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊
は行わず、森を大切に守り育てます
2. 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい
地域づくりを進めます
3. 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、
個性豊かな地域文化を育てます
4. 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活
力に満ちた地域づくりを進めます

昭和63年9月1日

二、潤いと安らぎのある地域社会の実現

素晴らしいふるさと景観をかげがえのない
共有財産とする共通認識にたつて、環境や
景観の保全と創造を図り、潤いと安らぎの
ある豊かな地域社会の実現をめざします。

三、活力のある開かれた地域社会の実現

地域風土を生かし、文化の十字路として、
新しい地域文化を創造し活力のある開かれ
た地域社会の実現をめざします。

子ども広場

平成20年度の子ども対象事業をお知らせします。



丹波の森

子どもミュージカル体験塾の開催について

体験塾7期生の募集を6月下旬に行います。

今年も新たな感動をあなたに！

詳しくは **文化振興部 (0795-72-5170)** まで。



参加者の声

「レッスンが**きびしい**けれど、楽しい時間でした。」(小5)

「めっちゃ楽しかったです。てゆうか、**来年も絶対やります!!**」(中2)

「子どもが**満足感を持って**終了できたのでよかったです。」(保護者)



参加者の声

「あんなに**すごい声**だなんて…」(中1)

「**わたしも知っている**音楽がありました。うれしかったです。」(小2)

「篠山出身の人でこんなに**有名な人**がいるとは思いませんでした。」(中1)



シューベルティアード2008

キン・コン・カン・コンサートの開催について

の開催について

篠山市・丹波市内の幼・小・中・特別支援学校の園児・児童・生徒を対象にクラシック音楽を提供するため、プロのアーティストを派遣します。詳しくは **文化振興部 (0795-72-5170)** まで。



たんば子ども塾の開催について

夏季休業中に高校生が講師となって、小学4～6年生を対象としたプログラムを管内7高校を舞台に展開します。

6月中旬に募集を行います。

詳しくは **丹波青少年本部 (0795-72-5168)** まで。



参加者の声

「高校生のお姉さんが**助けてくれたし**、みんなとも仲良くなれて良かったです。」(小6)

「組み立てるのが**難しかった**けど、お兄さんに手伝ってもらえてうれしかったです。」(小5)

「**今度も楽しみです**」(小5)



参加者の声

「むずかしいところもあったけどみんな**楽しく**できました。」(小2)

「説明が**わかりやすかった**です。」(小4)

「**最後まで**できてよかったです。」(小6)

「**またやりたい!!**」(小3)



丹波の森子ども美術クラブの開催について

の開催について

毎年夏に若手アーティストと共に作品を作り、芸術にふれるプログラムです。7月中旬に募集を行います。

詳しくは **文化振興部 (0795-72-5170)** まで。



丹波の森公苑環境学習推進事業

丹波縄文の森塾の開催について

年間を通じて学ぶ塾生(小学生)を募ります。

四季折々の里山の生き物や自然とふれ、森遊びや生活体験を通して、自然環境や生命の大切さを学びます。

3月下旬～4月中旬に募集を行います。

詳しくは **森づくり課 (0795-72-5169)** まで。

夏の縄文キャンプを中心に、年間を通して学ぶ新しいプログラムです。

子どもたちが五感を通して、**里山の自然**とふれあい、**生き物**を育て、**森の中**で遊び、様々な**生活体験**にチャレンジします。

森あそびの ススメ

—オオムラサキ—観察日記—

前号では、6月上旬の「トライやる・ウィーク」に参加した中学生のみなさんが上手に作ってくれたポスターを紹介しました。その頃は6令幼虫とサナギが混在する時期でした。

昨年6月22日に第1号のオスが羽化しました。オオムラサキの生活史は1年に1回の発生です。

7月上旬、翌年蝶になる幼虫が孵化し、ゆっくり4令まで成長して、そのまま越冬します。エノキの葉の黄化が始まる10月中旬から越冬色の黄化・褐色化が始まりました。居住する葉は葉柄と枝が離れない(葉が落ちてしまわない)ように吐糸でくっつけているようです。



越冬のための地上降下は葉から枝、枝から幹を伝っていくようです。11月17日に地上降下を観察しました。降下は夜が多いようですが、公苑では昼間でも観察できました。越冬する場所の多くは、居住していた幹の周り

丹波の森公苑に来て、
すべての生育ステージを見たり、触れたりして下さい。



1m以内にあるエノキの落ち葉の葉裏ですが、葉表や2枚のクヌギの葉の間でも越冬幼虫を観察しました。1枚の葉に1頭～5頭まで観察できました。12月中旬までに降下を完了し、エノキの新芽の準備が進む3月末ころまで越冬状態が続きます。

4月上旬から再び活動が始まり、まずエノキに登り、新芽が出るのを待ちます。体の色が、新芽と枝の混ざった色、新緑の色、緑色と変わるとともに5令、6令へと成長します。

6月上旬頃にサナギとなったオオムラサキは、他の蝶のサナギに比べ大きく、刺激を与えると激しく動きます。



これらの生育過程や行動について、今後も継続観察が必要と考えています。



定例プログラム

4月

春の自然を楽しもう!
ほか



5月

新緑の深山に登ろう
丸太のベンチ作り ほか



6月

森のリラクゼーション
布ぞうり作り ほか



7月

昆虫標本作り
夜の自然体験 ほか



8月

水辺の生きものを探そう
お盆休み特別企画
～木工クラフト～
ほか



春の里山まつり

と き 4月13日(日)
10時～15時(申し込み不要)
内 容 木工クラフト・餅つき
森のバザー・農産物販売 ほか

兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1
TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
U R L : <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail : csr@sasayamanomori.jp

ささやまの森公園からのお知らせ

森あそびのススメ

音楽座ミュージカル

「リトルプリンス」 上演のご案内



舞台写真は前回東京公演より

公演日時：平成20年6月28日(土)
午後2時
公演会場：丹波の森公苑ホール
公演名：宝くじ文化公演音楽座
ミュージカル
「リトルプリンス」
公演団体：音楽座ミュージカル
出演者予定：野田久美子・安中淳也
・秋本みな子ほかRカ

ンパニー

今回上演する「リトルプリンス」は、世界で唯一の独占ミュージカル権を獲得しミュージカル化した作品で、大人から子どもまでが心から感動できる作品となっています。

【公演団体プロフィール】

1988年、音楽座ミュージカルは、第1回作品「シャボン玉とんだ宇宙までとんだ」で旗揚げ。その後、1989年「とっともゴースト」、1990年「チェンジ」、1991年「アドモアゼル・モーツァルト」、1992年「アイラブ・坊ちゃん」、1993年「リトルプリンス」、1994年「泣かないで」「ホーム」、1995年「星の王子さま」、2000年「メトロに乗って」を発表。観客動員数は120万人にのぼり、文化庁芸術祭賞、紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞など日本の演劇賞を多数受賞している。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは
広く社会に役立て
られています。

丹波の森美術展のご案内

<作品募集>

(日本画、洋画、彫刻・彫塑の3部門)

■賞：各部門に、丹波の森公苑
長賞 1名、丹波県民局長賞 1
名、丹波の森公苑奨励賞 2名、
佳作 若干名

■出品料：無料

■応募申込み切：4月20日(日)
(必着)

<展 示>

■会期：5月1日(木)～6日(火)
午前9時～午後5時
(最終日は午後3時まで)

■会場：丹波の森公苑
多目的ルーム

<審査員による公開講評会>

■日時：4月29日(火)
午後1時30分～3時

■場所：丹波の森公苑
多目的ルーム
(日本画、洋画)
創作工房 (彫刻・彫塑)

アトリエアーティスト (研修作家)募集

丹波の森公苑内アトリエに滞在して創作し、子ども対象ワークショップも実施するアーティストを1名または1組(5名まで)募集します。ワークショップの費用とアトリエ使用料は当公苑が負担します。

■応募申込み切

平成20年4月25日(金) (必着)

■応募資格

美術(ジャンルは不問)の基礎的

な知識・技能と豊富な経験を有する20歳以上・芸術家を志す若手アーティストで、滞在期間中に規定の子ども対象ワークショップ(美術教室)を企画実施できる方。

■滞在

平成20年7月10日(木)～9月20日(土)のうち連続した60日以内、丹波の森公苑アトリエに滞在できます。



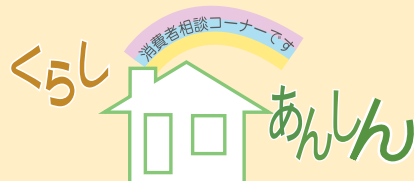
アトリエアーティスト募集 丹波の森美術展作品募集 応募申込方法

①募集要項の入手について

当公苑ホームページからダウンロードするか、文化振興部に請求してください。

②申込について

募集要項に必要事項を記入して提出してください。



多重債務からの脱出

相談事例

次々と金融機関から融資を受けており、その借金返済のために消費者金融7社からも借り入れをしている。最近、勤め先の経営状況が悪化し給料も遅れてきて返済が困難になってきた。

アドバイス

返済のための借金は 多重債務に陥る

最近では、借りやすさを強調した消費者金融の広告がいたるところで目につきます。ATM(現金自動預払機)や機械でカードをつくりお金を引き出せる無人契約機が街中に普及し、カードさえあれば誰でもお金を借りられる時代となりました。そんな借り入れの手軽さが**借金の意識を希薄**にし、銀行や信販会社、消費者金融など複数の金融機関から借入れているうちに借金がふくらみ、事例のように**多重債務に陥る**ケースが増えています。また、多くの借金を返済するために法外な金利で貸し付けるヤミ金融から借入れをしている人もいます。

多重債務の解消は、 まず相談から

そのような現状を踏まえ県やお住まいの市町では多重債務の**相談窓口を開設**しています。多重債務で困っている人の相談を受け、初歩のアドバイス行っただうえ、法律専門家に任意整理、特定調停、個人版民事再生、自己破産などの債務整理の解決策を検討いただきます。「借金返済」のために借金する悪循環を断つためにも困っている人は、**一人で悩まず**最寄りの消費生活相談窓口にご相談ください。

契約トラブル
悪質商法など **困ったら相談!**
0795-72-0999
相談時間：午前9時～午後5時15分
(休園日：月曜日 祝日の場合はその翌日)
丹波の森公苑生活情報相談コーナー

文化振興部
生活相談コーナー
からのお知らせ

丹波地域民俗芸能 保存・継承支援事業

守ろう、伝えよう丹波の伝統「民俗芸能」

丹波地域には獅子神楽、田楽、人形戯、翁舞をはじめとする多くのジャンルの民俗芸能が、室町時代から江戸時代にかけてまんべんなく継承されています。

こうした貴重な文化を地域の文化資源として再評価し、保存・継承の気運を醸成するとともに、地域の活性化を図るため、民俗芸能保存・継承に対して支援を行います。

1 広げる

「丹波地域の民俗芸能GUIDE MAP」を作製し、ホームページに掲載します。
<http://www.tanba-mori.or.jp/>



3 守る

民俗芸能を映像に保存したり、衣装・小道具等の修復を助成します。



2 伝える

室町時代からまんべんなく継承されてきた丹波地域の民俗芸能を披露し、民俗芸能のすばらしさを伝えます。



兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座

「丹波OB大学」の 平成20年度入学生募集について

1 趣旨

本大学は、兵庫県地域高齢者大学として、丹波地域の高齢者の皆様に、学習や交流の場を提供し、生きがいのある充実した生活をおくるために必要な教養を身につけていただくとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会をつくり出す実践者の養成を目的としています。

2 申込みについて

(詳細は別途配布募集要項をご覧ください。募集要項は篠山市・丹波市各公民館等にもあります。)

(1)申込方法：募集要項に記載の入学生申込み書を提出してください。

(2)募集対象：60歳以上の篠山市・丹波市在住者

(3)募集定員：60名程度

(4)申込期間：平成20年4月3日(木)必着

(5)入学決定：定員を超えた場合は抽選により決定し、4月中旬に結果等をお知らせします。

3 学習期間

平成20年5月8日(木)～平成21年2月18日(水)
(年間17日間:水曜日を中心に開講[9:30～14:30])

上記以外に、本年度1年生には年間5回程度の「特別講座」が受講できます。

4 受講料等

受講料年額15,000円と運営費年

額1,000円です。

5 クラブ活動

学生自治会主催の自主クラブ活動(14:30～16:00)もあります(希望者のみ)

・グラウンドゴルフ、歌謡教室、ダンス、絵手紙、花づくり

6 その他

受講生決定後、「入学説明会」を5月初旬に開催する予定です。



講義風景

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座

「丹波OB大学大学院」の 平成20年度入学生募集について

あなたの学びや経験を、さらに「地域づくり」へと広げていく講座です。より柔軟で、受講生の興味・関心を生かした学習内容にするため、また、受講生自身が創っていく講座になるよう学習計画をたてました。

1 申込みについて

(詳細は別途配布募集要項をご覧ください。募集要項は篠山市・丹波市各公民館等にもあります。)

(1)申込方法：募集要項に記載の入学生申込み書を提出してください。

(2)募集対象：丹波OB大学および、篠山市・丹波市が設置する高齢者大学・学園等を修了し、地

域活動に積極的に参加する意欲のある方(丹波地域在住者)

(3)募集定員：30名程度

(4)申込期間：平成20年4月9日(水)必着

(5)入学決定：定員を超えた場合は抽選により決定し、4月下旬に結果をお知らせします。

2 学習期間(2年間)

1年次

平成20年5月14日(水)～平成21年3月11日(水)
年間19回程度

3 受講料

年額15,000円

兵庫県立大学特別公開講座

テーマ (予定)

「丹波竜をめぐって」

開講期間

平成20年6月28日～7月26日
(毎土曜日 計5回)

募集定員：40名程度

代表講師：兵庫県立大学
三枝 春生 助教

受講料：有料(額未定)

8～9ページの募集に関する文化振興部へのお問い合わせ
0795-72-5170

第16回
丹波の森写真展の開催

ふるさと丹波の森づくりの推進や、丹波地域の良さを再発見するために、「丹波の森を歩む」をテーマにした写真を募集していましたが、このほど審査が終わり、受賞作品をはじめ数多くの応募作品を下記の日程で展示いたしますので、是非ともご覧ください。

- ◇テーマ 「丹波の森を歩む」
- ◇丹波会場 (丹波の森公苑展示ギャラリー)
展示期間 4月26日(土)～5月8日(木)
- ◇篠山会場 (篠山市民センター)
展示期間 5月14日(水)～5月24日(土)

このページについてのお問い合わせは
兵庫丹波の森協会
0795-73-0933

第18期「丹波の森大学」
受講生募集

丹波の森構想を推進するための、森づくりや地域づくりの講義と、現地学習を交えた講座を開設いたします。

- ◇期間 7月17日～12月11日
- ◇定員 130名(全11回)
- ◇受講料 ￥10,000円
- ◇講義日程と講師
- ①7月17日・開講式と講義「持続可能な地域づくり」丹波の森公苑長 中瀬 勲 ②7月31日・「丹波の恐竜と中生代の世界」兵庫県立大学准教授 三枝 春生 ③8月21日・「生涯現役のための面白健康科学」京都大学教授 森谷 敏夫 ④9月4日・「どこかの星の平和憲法(顛末記)」兵庫県立南但馬自然学校長 森本 雅樹 ⑤9月25日・「東西森林文化の系譜」山形大学名誉教授 北村 昌美(篠山市民センター) ⑥10月9日・「ライフスタイルの変化と人づくり・地域づくり」サントリー(株)次世代研究所部長 佐藤 友美子 ⑦10

- 月16日・現地視察「奈良町の保全と再生(奈良市)」 ⑧10月29日・公開講座「テーマ未定」国際日本文化研究センター名誉教授 梅原 猛(たんば田園交響ホール) ⑨11月8日・公開講座「『丹波の森構想』検証フォーラム」(丹波の森公苑ホール) ⑩11月20日・「照葉樹林文化とナラ林文化～東アジアの二つの森の文化と日本人～」国立民族学博物館名誉教授 佐々木 高明(篠山市民センター) ⑪12月11日・「人類はどこから来て どこへ行くのか」丹波の森大学学長 河合 雅雄・閉講式
- ◇開催日 毎回木曜日(一部変更有り)13時30分～15時30分(現地視察は終日)
- ◇開催場所 ⑤⑩は篠山市民センター ⑧はたんば田園交響ホール、その他丹波の森公苑
- ◇申込み 所定の用紙にて(丹波の森公苑、市各支所及び各公民館にあります。)

丹波(篠山市・丹波市)の
むかしばなし第八集発刊

丹波地域の子もたちが、心豊かに育て欲しいと願い、丹波地域に伝わる昔話をまとめた「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」第八集を発刊しました。
今回は、篠山市畑山に残る「ほら吹きくらべ」や、丹波市船城に伝わる「ふくろうのなみだ」など、

全11話を掲載しています。

発売予定日
3月末
単価
¥500円



丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし第八集原画展の開催

- ◇展示期間 4月12日(土)～4月24日(木)
- ◇展示会場 丹波の森公苑 展示ギャラリー

地域とともに “丹波の森研究所”

丹波の森「地域登録員制度」

丹波地域では、昨年から校区単位での住民主体のまちづくり組織が結成され、地域の創意と工夫によるまちづくりが盛んに行われております。
まちづくりは地域住民や企業が力を合わせて将来の目標に向けて生活環境改善等を図る取り組み(運動)で、それぞれワークショップに基づく計画的なまちづくりが行われています。
今後増大が予想される地域独自のまちづくりへの支援に向けて、(財)兵庫丹波の森協会では、平成18年度から3年間をかけて神戸大学との協働のもとに新しく「地域登録員制度」

(団体含む)を設け、地域のまちづくりの要望に応じる人材派遣の実施に向けて取り組んでおります。
この制度は、丹波地域に広く蓄積された豊かな知恵(知識)を把握・継承・発展させ、今後の地域課題を乗り越えていく「生きた知恵」として有効な活用を図っていかこうとするものです。
ぜひあなたの知識や技術を登録していただき、丹波地域の地域づくりに活かしませんか。
あなたの登録をお待ちしております。

丹波の森「地域登録員制度」

- 個人でも団体でも登録できます。
- テーマ別部門に分かれ登録します。
- 派遣先との仲立ちは地域連携コーディネーターが行います。
- 派遣は2～3名のグループで行います。
- 登録者は兵庫丹波の森協会の広報誌やHPで紹介します。
- 登録条件は丹波地域、在住在勤者が対象です。性別や年齢は問いません。

お問い合わせ
(財)兵庫丹波の森協会
丹波の森研究所篠山分室
TEL・FAX 079-506-3530



* 催しのご案内 *

丹波の森公苑ホール

4 月

丹波市民公開講座

4月5日(土) 14:00~
 ※問い合わせ先 丹波市医師会
 アステラス製薬(株) 0120-888-166

ジョイフル第12回ピアノ・エレクトーンコンサート

4月6日(日) 13:00~
 ※問い合わせ先 ジョイフル 080-5335-7754

丹波市謡曲仕舞大会

4月29日(火) 9:30~
 ※問い合わせ先 丹波市謡曲同好会 0795-72-0038

5 月

平成20年金婚夫婦祝福式典

5月11日(日) 13:00~
 ※問い合わせ先 神戸新聞社 078-362-7052

発足20周年記念・第20回丹波市音楽祭

5月25日(日) 13:00~
 ※問い合わせ先 丹波市音楽協会 0795-72-1980

6 月

第25回柏原高校コーラス部定期演奏会

6月7日(土) 14:00~
 ※問い合わせ先 県立柏原高等学校コーラス部
 0795-72-1166

第13回ふれあい劇場

6月8日(日) 13:00~
 入場料 200円
 ※問い合わせ先 ふれあい劇場実行委員会
 0795-72-5170

音楽座ミュージカル公演 ミュージカル「リトルプリンス」

6月28日(土) 14:00~
 入場料 大人 2,000円(当日2,500円)
 高校生以下 1,000円(当日1,500円)
 ※問い合わせ先 丹波の森公苑文化振興部
 0795-72-5170

7 月

上月みのり30周年記念バレエ発表会

7月20日(日) 15:30~
 ※問い合わせ先 上月みのりバレエスクール後援会
 079-590-5710

9 月

西崎 祥 舞踊公演

9月28日(日) 12:30~
 入場料 有料
 ※問い合わせ先 西崎祥舞踊研究所 0795-72-3880

※ 詳細は主催者にお問い合わせください

展示ギャラリーのご案内

< 展示ギャラリー(無料)を
 利用しませんか >



展示ギャラリーを絵画や写真、彫刻や陶芸などの展示、グループ活動の発表スペースとして、無料で開放しています。(ただし営利目的での使用はできません)。丹波の森公苑ホームページでの告知、新聞社等への広報サポートも行いますので、ぜひご利用ください。

◇利用期間

休園日を除く12日間以内の9時~17時まで

◇申込方法

利用日の3か月前~3日前までに、所定の利用申込書を提出してください。なお、展示方法や広報について、事前に打ち合わせが必要な場合があります。

※ 展示中の損傷や亡失などの責任は負いかねますので、ご了承ください。

丹波の森構想策定 (財)兵庫丹波の森協会設立

20周年記念丹波の森フェスティバル開催予告

日時：平成20年11月8・9日
 10:00~

場所：丹波の森公苑

内容：20周年記念講演・記念植樹
 シューベルティアードたんば2008
 ファイナルコンサート などなど

詳細が決まりましたら別途お知らせをします。

森と自然とふれあいの旅

第17回ウィーンの森親善訪問団募集

～世界遺産を巡る8日間～

今年は丹波の森と友好親善提携を結んで15周年となるウィーンの森とチェコ、旧東ドイツの世界遺産を巡ることにいたしました。

ウィーン13区の表敬訪問や、美しいウィーンの森を訪れ、森づくりに取り組んでおられる方々との交流、本場の音楽鑑賞などを楽しみます。

また、東欧の真珠と称せられる美しい古都プラハや、ドイツ統一の舞台となったベルリンなど多くの世界遺産を見学していただきます。

森と自然とふれあいの素晴らしい旅に是非ともご参加ください。

参加締切:平成20年5月10日(土)

◇日程:7月3日(木)～7月10日(木)
8日間

◇参加費用: **¥328,000**

(1人部屋追加代金 58,000円)

※旅行代金には現地空港諸税及び日本の空港施設使用料、運送機関の課する付加運賃・料金(燃料サーチャージ)は含まれておりません。

◇募集人員: **30人**(最少催行人員 20人)

◇その他:参加者の説明会を6月15日(日)に計画しております。

参加申込
その他
詳しくは

(財)兵庫丹波の森協会

〒669-3309
丹波市柏原町柏原5600
TEL/Fax 0795-73-0933

日程	都市名	訪問地 他
7/3(木) 初日	日本 ウィーン (オーストリア)	関西国際空港 出発 到着
7/4(金) 2日目	ウィーン (オーストリア)	ウィーン13区表敬訪問、 ウィーンの森視察 ナポレオンの森、ライン ツィア野生動物公園、 コンサート鑑賞、 ウィーン市内観光、 シェーンブルン宮殿 など
7/5(土) 3日目		
7/6(日) 4日目	チェスキー・クルムロフ プラハ (チェコ)	世界遺産の街チェスキー・クルムロフ観光
7/7(月) 5日目	プラハ (チェコ) ドレスデン ベルリン(ドイツ)	プラハ市内観光 世界遺産ドレスデンへ ベルリンへ
7/8(火) 6日目	ポツダム ベルリン(ドイツ)	世界遺産ポツダム観光 ベルリン市内観光
7/9(水) 7日目	ベルリン (ドイツ)	テーゲル空港 出発
7/10(木) 8日目	日本	関西国際空港 到着

森協会にお申し出ください。

ましては(財)兵庫丹波の森協会に

お願ひいたします。

皆様のご理解とご協力を

お願いいたします。

動の資金として活用を

基金制度)を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活

動の資金として活用を

基金制度)を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活

動の資金として活用を

基金制度)を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活

動の資金として活用を

基金制度)を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活

動の資金として活用を

基金制度)を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活

動の資金として活用を

基金制度)を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活

**丹波の森づくり
募金にご協力を**

(財)兵庫丹波の森協会は、丹波地域の美しい豊かな自然を守り、育まれてきた文化遺産を活かしながら、人と自然と文化が調和するまちづくりを市民の皆様とともに進めております。

《兵庫丹波の森協会ではこんな事業を行っております》

○自然環境を守り、緑化の推進

○地域文化の創造と育成事業

○自然に親しみ、森と共に生きる

○ふれあい事業

○地域づくりのための調査研究事業

○ほか丹波の森づくりに関する事業

これらの事業を推進するには、どうしても資金が必要

です。そこで「丹波の森基金制度」を設け、丹波の

森づくり(地域づくり)活動の資金として活用を

お願いいたします。

丹波の森 第36号

—平成20年4月発行—

(財)兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑

〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600
Tel.0795-73-0933 (森協会事務局)
Fax.0795-73-0933 (森協会事務局)
Tel.0795-72-2127 (森公苑 代表)
Fax.0795-72-0899 (森公苑 代表)
Tel.0795-72-5168 (森公苑 活動支援部)
Tel.0795-72-0999 (森公苑 消費相談)
Tel.0795-72-5169 (森公苑 森づくり課)
Tel.0795-72-5170 (森公苑 文化振興部)
Tel.0795-72-5167 (森公苑 企画課)
http://www.tanba-mori.or.jp/
E-mail: morikoen@hk.sun-ip.or.jp

森のクイズ

オオムラサキの幼虫は、右図の①～⑨のどこにいるでしょう。

正解者には、抽選の上協会からすてきな記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてはがきで事務局までお送りください。(※切4月30日)35号の答えは②オオムラサキが正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

